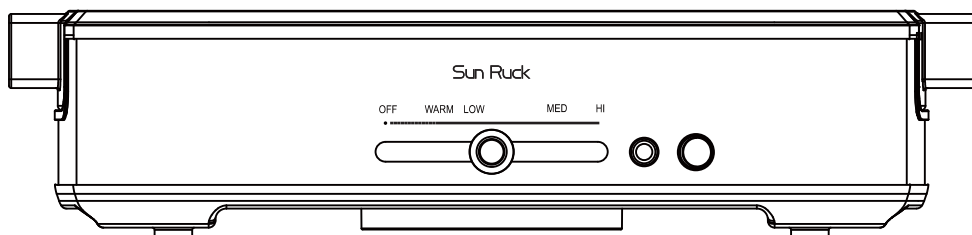


Sun Ruck

取扱説明書

焼肉グリル SR-KD802



この度はお買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品の使用上の注意事項及び警告事項について詳しく記載しています。本製品をご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、内容を十分にご理解された上で事故が起こらないように記載内容に従って正しくご使用ください。

なお、本製品は家庭用です。業務用や調理以外の目的には使用しないでください。

目次

- 安全上のご注意 P1 ~ P6
- 各部の名称 P7
- 操作パネル P8
- 使用前の注意 P8
- 使いかた P9 ~ P11
- 知っておいていただきたいこと P12
- 各部品の取り外し P13
- お手入れと保管 P14 ~ P15
- 故障かな？と思ったら P16
- 製品仕様 P17



●安全上のご注意 ※必ずお守りください

使用する前に「安全上のご注意」をよく読み、必ず守ってください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しく使用するためや、使用する人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

また危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。





 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■指示マークの例

(例)  感電注意	△は、注意を示します。 (危険、警告を含む)	(例)  分解禁止	○は、禁止を示します。 (してはいけない事)	(例)  プラグを抜く	●は、強制を示します。 (必ずする事)
---	---------------------------	--	---------------------------	--	------------------------

警告

■電源コード・電源プラグについて

 指 示	電源プラグは、根元まで確実に差し込む ●発熱・感電・火災の原因になります。	 指 示	交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する ●交流100V以外での使用、または延長コードやタコ足配線で使用すると、感電やコンセントが異常発熱して、火災の原因になります。
 指 示	定期的に電源プラグのホコリをふき取る ●電源プラグに、ホコリがたまると湿気により絶縁不良となり、ショート・感電・火災の原因になります。 ●電源プラグのホコリは、乾いたふきんでふき取る。	 禁 止	電源コード、電源プラグが傷んでいたり、差し込みがゆるいときは、使用しない ●ショート・感電・火災の原因になります。

警告

■ 電源コード・電源プラグについて



指 示

破損、故障、異常があったり、電源コード、電源プラグが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

- やけど・感電・火災の原因になります。



禁 止

電源コード、電源プラグを傷付けたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近付けたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、たばねて使用しない

- ショート・感電・火災の原因になります。
- 熱くなったプレートやヒーターに電源コード、電源プラグを触れさせない。



禁 止

電源コードの上に重いものや製品をのせたり、挟み込まない

- ショート・感電・火災の原因になります。



プラグを
抜く

使用後は、電源プラグをコンセントから抜く

- やけど・感電・漏電火災の原因になります。

■ 設置について



禁 止

燃えやすいもの(カーテンや新聞紙)、熱に弱いものが周辺にある場所で使用しない

- 発煙・火災の原因になります。
- 燃えやすいものをプレートの上のせたり、本体の下に入れて使用しない。
- 使用後も余熱で熱くなっているので、十分注意する。



禁 止

フローリング、畳、じゅうたん、熱に弱い敷物(テーブルクロス)の上で使用しない

- 変色・発煙・火災の原因になります。
- 使用後も余熱で熱くなっているので、十分冷めるまで熱に弱いものの上にプレート、ヒーターユニット、遮熱板を置かない。



禁 止

可燃性ガスや引火性のもの(ガソリンやシンナーなど)がある場所で使用しない

- 爆発・火災の原因になります。

警告

■ 使用について



禁止

付属のプレート以外を使用したり、ヒーターの上にプレート以外のものをのせて使用しない

- やけど・火災の原因になります。



分解禁止

分解、修理、改造をしない

- やけど・感電・火災の原因になります。
- ※修理は、サポートセンターに依頼してください。



禁止

使用中は、その場を離れない

- 過熱により調理物がこげたり、発煙・火災の原因になります。
- 離れるときは、温度調節スライドノブをOFFの位置に戻し電源プラグをコンセントから抜く。



禁止

子供や取り扱いに不慣れな方だけで使用しない
乳幼児の手の届く場所で使用したり、保管しない

- けが・やけどの原因になります。



禁止

使用中や使用後しばらくは、グリルプレート、水トレイに手や顔を近づけたり、触れない

- やけどの原因になります。
- 使用中は、各部が高温になるので注意する。
- とくに乳幼児には、触らせないように注意する。

■ お手入れ・保管について



プラグを抜く

お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く

- やけど・ショート・感電の原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- ショート・感電の原因になります。



水濡れ禁止

本体や電源接続部を水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない

- 故障・火災の原因になります。



指示

お手入れは、十分冷めてからおこなう

- やけどの原因になります。
- グリルプレート、水トレイが熱くなっているので十分注意する。

警告

■ お手入れ・保管について



指 示

各 부품の取り付け、取り外しや持ち運ぶときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、十分冷めてからおこなう

- やけど・火災の原因になります。
- 十分冷めるまで取り外したり、動かさない。



指 示

包装用ポリ袋は、子供の手の届かない場所に保管する

- 誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして、窒息する原因になります。

注意

■ 電源コード・電源プラグについて



禁 止

電源コードを引っ張って、電源プラグを抜いたりしない

- ショート・感電・火災の原因になります。
- 必ず電源プラグを持って引き抜いたり、取り外す。

■ 設置について



水濡れ禁止

水や蒸気が製品にかかる場所、水にぬれた場所、湿気の多い場所で使用しない

- 故障・ショート・感電の原因になります。



指 示

安定した水平な場所で使用する

- 製品が落下して、故障・けが・やけどの原因になります。
- 不安定な場所で使用しない。



禁 止

次のような場所で使用しない

- 変質・変形・感電・火災の原因になります。
- 火気や熱源(コンロやストーブ)の近く、直射日光のあたる場所、高温になる場所。
- 油や油煙が発生する場所。(厨房や工場)
- ホコリや金属粉の多い場所。



禁 止

壁や家具の近く、キッチン棚の中で使用しない

- 熱により壁や家具を傷めたり、変色・変形の原因になります。
- 天然木、白木、コーティング加工された木製品は、変色しやすいのでとくに注意する。

注意

■ 使用について



禁止

業務用に使用しない

- 無理な負担がかかり、破損・故障・火災の原因になります。



禁止

調理以外の目的で使用しない

- やけど・火災の原因になります。



禁止

グリルプレートを直火にかけたり、電磁調理器(IHクッキングヒーター)や電気ヒーターの上で使用しない

- グリルプレートのフッ素樹脂コーティングが傷んだり、変形・故障・火災の原因になります。



禁止

水トレイや遮熱板に、クッキングペーパーやアルミホイルを敷いて使用しない

- 発煙・火災の原因になります。



禁止

調理開始前の予熱以外は、カラ焼きをしない

- 変形・故障の原因になります。



指示

使用するときには、必ず水トレイに水を入れる

- 発煙・火災の原因になります。



禁止

金属製の tong、箸、器具類を使用したり、グリルプレートの表面や角部(コーナー)をこすらない

- グリルプレートのフッ素樹脂コーティングを傷める原因になります。



禁止

食材、調理くず、油が残ったまま放置しない

- グリルプレートのフッ素樹脂コーティングが傷んだり、油の種類によっては、プラスチックを劣化させたり、変色・変質・破損の原因になります。
- 調理くず、油、汚れは、きれいにふき取る。



禁止

必要以上に加熱しない

- 過熱により、火災の原因になります。



指示

持ち運ぶときは、製品をしっかり持っておこなう

- グリルプレート、水トレイ、本体が落下すると、破損・故障・けがの原因になります。
- 水がこぼれる原因になるので、水トレイの水を捨ててから持ち運ぶ。



禁止

落としたり、強い衝撃を与えない

- 故障・けが・火災の原因になります。
- グリルプレートのフッ素樹脂コーティングを傷める原因になります。
- 本体や電源接続部に強い衝撃を与えると電源が入らなくなったり、正常に温度調節ができなくなるため、とくに注意する。

注意

■ お手入れ・保管について



指 示

使用後は、毎回お手入れをする

- 調理くず、油、汚れが残ったまま使用すると、発煙・火災の原因になります。



禁 止

製品の上に重いものをのせない

- 変形・破損・故障の原因になります。



禁 止

**掃除用、整髪用、殺虫剤の
スプレーを吹き付けない**

- 変色・変質・破損の原因になります。



禁 止

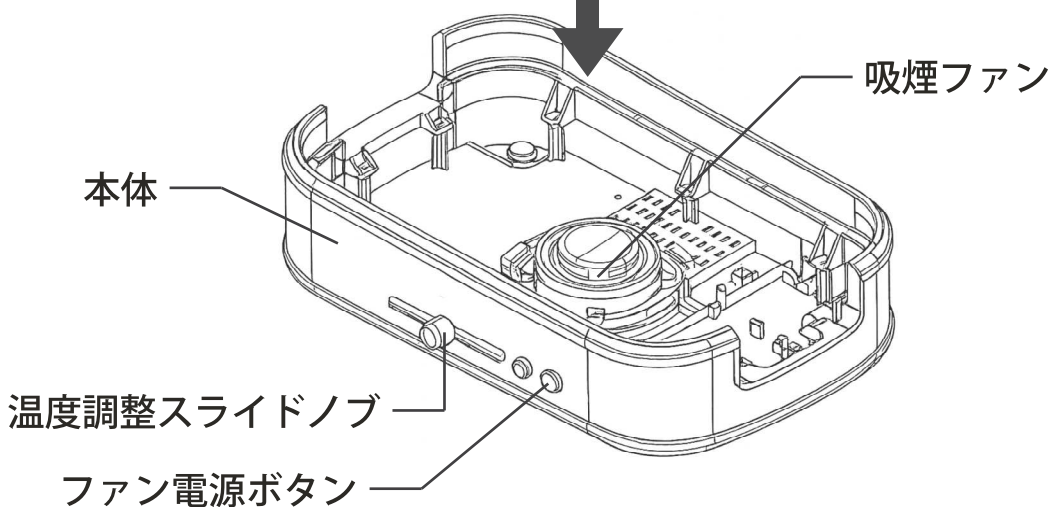
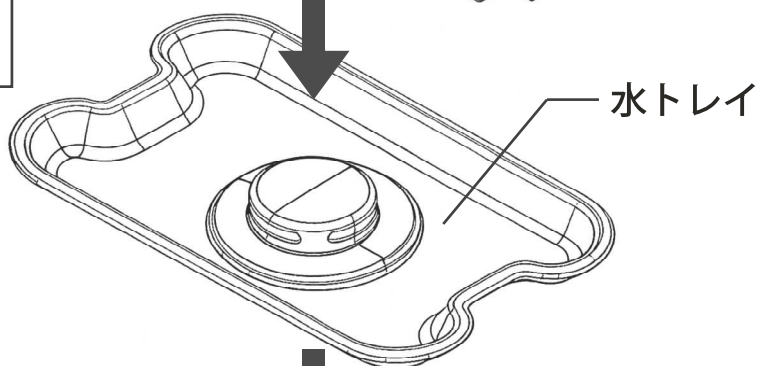
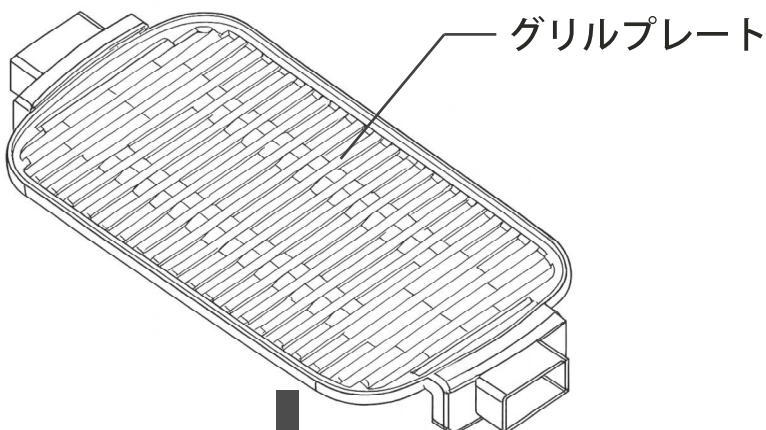
お手入れには、シンナー、ベンジン、漂白剤、みがき粉、たわし、スポンジの研磨面を使用しない

- 傷・変質・破損の原因になります。

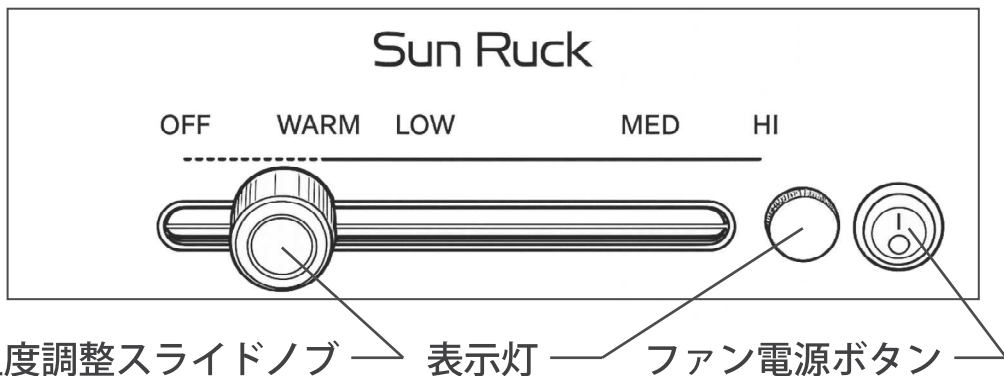
各部の名称

セット内容

- 本体 ×1
- グリルプレート ×1
- 水トレイ ×1、
- カーボンフィルター
(消耗品) ×3
- 取扱説明書 ×1



操作パネル



- 表示灯は温度調整スライドノブを「OFF」以外にスライドさせると点灯し、グリルプレートに通電していることを知らせます。

温度目安	WARM (保温)	LOW (低)	MED (中)	HI (最大)
	約 80 °C	約 120 °C	約 200 °C	約 250 °C

使用前の注意

- ※グリルプレートは軽く水洗いをして、十分に乾かしてから本体にセットしてください。
- ※使いはじめに、本体から特有のニオイや煙が発生することがありますが、これは部品の加熱によるもので故障ではありません。
ご使用とともに少なくなります。気になる場合は換気扇を回すなど、十分に換気を行ってください。
- ※天然木や白木、表面コーティング加工が施されたテーブルやカウンターの上で使用すると、熱の影響で設置面が変色したり、跡が残ったりする恐れがありますので注意してください。
- ※長時間、または繰り返し同じ場所で使用される場合は、ときどき使用場所の状態を確認してください。
長時間使用すると、変色することがありますので注意してください。

使いかた

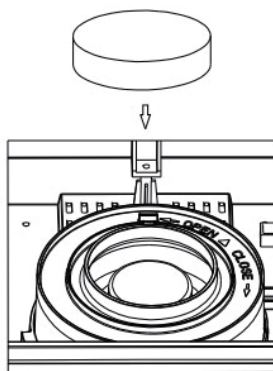
■ グリルプレートや水トレイを洗う

- グリルプレートや水トレイなどの付属品を、よく洗い、乾かしてください。

■ 本体を安定した水平な場所に設置する

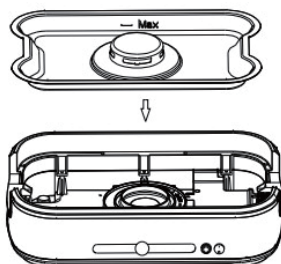
■ カーボンフィルターを本体にセットする

- 右図のように、カーボンフィルターを本体のファン部にセットしてください。
- ※フィルターが浮かないよう、奥まで確実に差し込んでください。



■ 水トレイを取り付ける

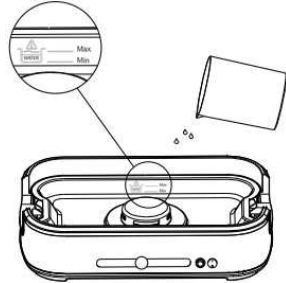
- 右図の向きを確認し、水トレイを本体の上部から確実にセットしてください。
- ※隙間がないよう、水平に押し込んでください。



使いかた

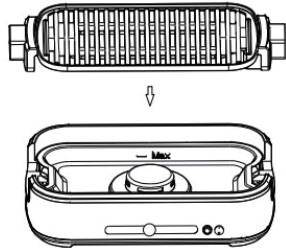
■ 水トレイへの注水

- 水トレイに水を入れます。
水位は必ずトレイ内の上限「MAX」ライン、
および下限「MIN」ラインの間になるように
調整してください。
- ※故障や発火、煙の発生を防ぐため、
必ず水を入れてからご使用ください。



■ グリルプレートを取り付ける

- 水トレイの上にグリルプレートのをせ、ガタ
つきがないよう正しくセットしてください。
- ※プレートが浮いたり傾いたりしていると、
加熱が不十分になったり、食材が滑り落ちた
りする原因になります。



■ 電源を入れる

- 電源プラグをコンセントに差し込みます。
表示灯が点滅して待機状態になります。

使いかた

■ 予熱と油引きをする

調理を始める前に、以下の手順で予熱と油引きを行ってください。

●加熱を開始する

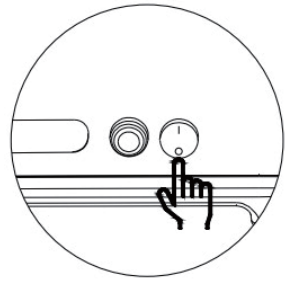
温度調整スライドノブを一度「OFF」の位置に合わせ、その後「HI」まで調節してください。表示灯が点滅から点灯に変わり、加熱が始まります。

●自動オフ機能について

電源を入れてから 10 分間操作を行わないと、安全のため自動的に加熱が停止し、ランプが消灯します。

●吸煙ファンを作動させる

ファン電源ボタンを押し、ファンを作動させます。
内蔵ファンが調理中の煙やニオイを効率よく吸引します。



●予熱と油引き

そのまま約 4 分間予熱してください。

予熱が終わったら、食材のこびりつきを防ぐために、グリルプレートの表面にキッチンペーパーなどで料理油を薄く塗ってください。

■ 食材を調理する

●予熱が終わったら、グリルプレートの上に食材を重ねないように並べます。

●食材に合わせて、温度調節ダイヤルで火力を調整してください。

■ 電源を切る

●ご使用後は必ず温度調整スライドノブを「OFF」に戻し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●ご使用後は必ず本体が完全に冷めてからお手入れを行ってください。

知っておいていただきたいこと

フッ素樹脂コーティングを長持ちさせるために

プレートの表面には、フッ素樹脂コーティングが施されています。

※コーティング面を保護するために、下記の点に注意してください。

- 金属製のトングや箸、ヘラなどの硬い器具は使用しないでください。
- 調理の際は、表面に優しい木製や耐熱シリコン・樹脂製の器具をお使いください。
- 落としたり、固いものにぶついたりするなど、強い衝撃を与えないでください。
- 調理くずや油汚れを放置すると、こびりつきやニオイ移りの原因になります。
ご使用後はすみやかにお手入れしてください。
- お手入れ後は十分に乾燥させ、直射日光の当たらない、湿気の少ない清潔な場所に保管してください。

調理中に注意していただきたいこと

グリルプレートに食材をのせたり、お皿に移すときは

- 食材を並べる・裏返す・できあがった調理物をお皿に移すときは、木製や耐熱樹脂（シリコンなど）製の器具をお使いください。
金属製のトングや箸、ヘラなどは、グリルプレート表面のフッ素樹脂コーティングを傷つける原因となるため、使用しないでください。

油や水分の多い食材を調理するときは

- 調理中に食材から油や水分がはねることがあります。やけどや周囲の汚れにご注意ください。

グリルプレートにアルミホイルをのせて調理するときは

- グリルプレートの上にアルミホイルを敷いて調理することが可能です。
食材のくっつき防止や、プレートの汚れ軽減に役立ちます。
- 加熱後のアルミホイルは非常に高温になります。取り出す際は必ずミトン（鍋つかみ）などを使用し、素手で触れないようにしてください。

各部品の取り外し

調理くずや油汚れを放置すると、こびりつきやニオイ移りの原因になります。ご使用後は、できるだけ早めにお手入れをしてください。各部品の取り外しや取り付けを行う際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

※使用直後は、グリルプレートなどの各部品が非常に高温になっています。必ず本体が完全に冷めたことを確認してから、各部品を取り外してください。

グリルプレート、水トレイの取り外し

グリルプレートの取り外し

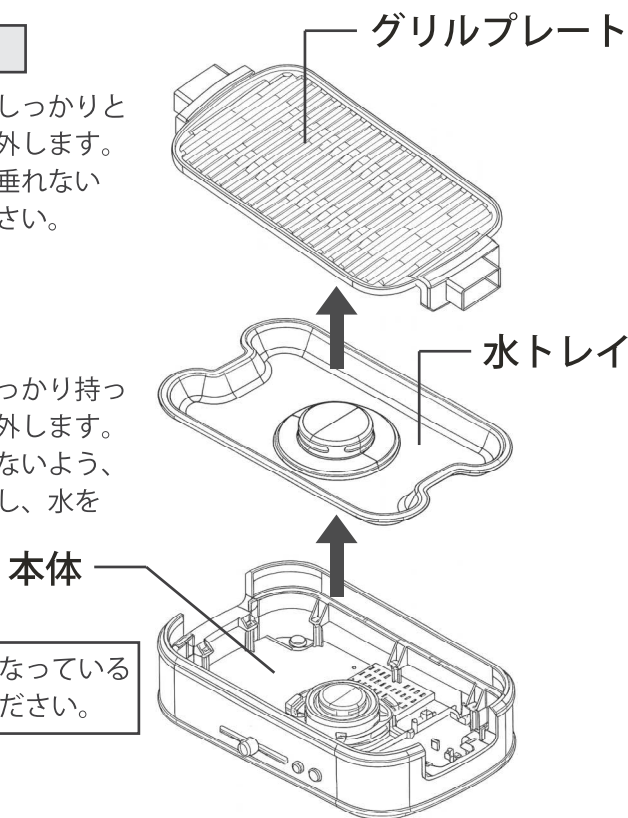
- グリルプレートの端を両手でしっかりと持ち、真上に持ち上げて取り外します。
- ※グリルプレートに残った油が垂れないよう、水平に持ち上げてください。

水トレイの取り外し

- 水トレイを傾けないようにしっかりと持って、ゆっくり持ち上げて取り外します。
- 中に溜まった油や水がこぼれないよう、水平を保ちながら慎重に移動し、水を捨てます。

注意

※水を捨てる時は、水が熱くなっているので十分冷めてから捨ててください。



お手入れと保管

※焼肉グリルは、食品に触れる調理器具のため、使用後は必ずお手入れをして、いつも清潔な状態で使用してください。

※お手入れをするときは、けがを防止するためゴム手袋を着用してください。

警告



プラグを抜く

お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く

●やけど・ショート・感電の原因になります。



指示

お手入れは、十分冷めてからおこなう

●やけどの原因になります。
●プレート、ヒーター、遮熱板が熱くなっているので十分注意する。

本体のお手入れ

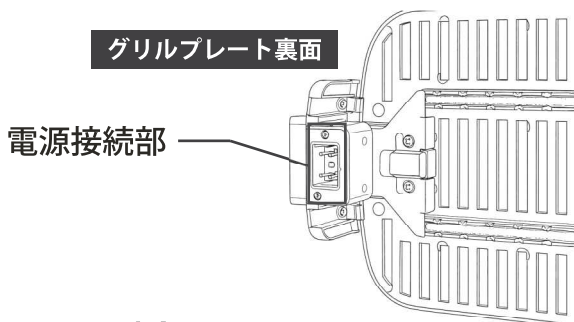
※丸洗いできません

- 調理くず、油、汚れは、水に浸した柔らかいふきんを、よくしぼってふき取ります。
- 落ちにくい油や汚れは、薄めた食器用中性洗剤に浸した柔らかいふきんを、よくしぼってふき取ります。
さらに乾いた柔らかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。

グリルプレートのお手入れ

※丸洗いできません

- 台所用中性洗剤を柔らかいスポンジに含ませ、優しく洗ってください。
汚れを落とした後は、洗剤が残らないよう十分にすすいでください。
 - 洗った後は、乾いた柔らかい布で全体の水分をしっかりと拭き取ってください。
- ※電源接続部は濡らさないようご注意ください。
濡れた場合は乾いたふきんでふき取り、完全に乾かしてからご使用ください。
濡れた状態で使用すると故障する恐れがあります。



お手入れと保管

水トレイのお手入れ

※丸洗いでできます

- 食器用中性洗剤を柔らかいスポンジに含ませて水洗いします。
 - 洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いた柔らかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。
- ※裏面の汚れも、必ずお手入れしてください。

カーボンフィルターのお手入れ

※丸洗いでできます

- 容器に薄めた食器用中性洗剤を用意し、フィルターを浸け置きするか、柔らかいブラシで表面の油や汚れを丁寧に落としてください。
 - 油や汚れを落としたら、洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いた柔らかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。
- ※カーボンフィルターを水洗い・浸け置き洗浄した際、表面から細かい炭の粒子が少量流れ出ることがありますが、これは活性炭フィルターの性質上起こるもので、製品の異常や故障ではありません。そのままご使用いただけます。

カーボンフィルターの交換について

カーボンフィルターは、吸煙・脱臭性能を維持するための消耗品です。定期的にお手入れを行い、以下の目安を参考に新しいカーボンフィルターと交換してください。

- 洗浄しても煙の吸い込みが弱くなったと感じるとき。
- 調理中のニオイが以前より気になり始めたとき。
- 油汚れによる目詰まりがひどく、洗浄しても汚れが落ちきらないとき。

交換時期の目安：約 60 回～ 70 回のご使用（定期的に洗浄した場合の目安です）

保 管

- 保管の前は、必ずお手入れをします。
- お手入れ後は、よく乾燥させてからポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。（湿ったまま保管すると、カビの発生、異臭、故障の原因になります）

注 意

※各部品を本体に取り付けたまま製品を傾けたり、立てたりしないでください。

落下して、破損・故障・けがの原因になります。

※電源プラグの根元を曲げたり、電源コード、電源プラグに力がかかるような状態で、保管しないでください。

異常発熱・ショート・火災の原因になります。


故障かな？と思ったら

修理依頼をする前に次のことを確認してください。

症状	考えられる原因	対策
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ グリルプレートや水トレイが確実に取り付けられていますか？ 温度調整スライドノブが「OFF」になっていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに、根元まで確実に差し込んでください。 グリルプレートの電源接続部が、本体にしっかりととはまっているか確認してください。 温度調整スライドノブを「WARM」から「HI」などの設定温度まで上げてください。
グリルプレートの温度が上がらない	<ul style="list-style-type: none"> グリルプレートや水トレイが確実に取り付けられていますか？ 温度調整スライドノブが「OFF」になっていませんか？ 自動オフ機能が働いていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> グリルプレートの電源接続部が、本体にしっかりととはまっているか確認してください。 温度調整スライドノブを「WARM」から「HI」などの設定温度まで上げてください。 安全のため、電源を入れてから10分間操作を行わないと加熱を停止します。一度電源を切ってから再度ご使用ください。
調理中の煙がいつもより多い	<ul style="list-style-type: none"> 水トレイに水が入っていますか？ 吸煙ファンがOFFになっていませんか？ カーボンフィルターが汚れていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 水トレイのMAXラインまで水が入っているか確認してください。水がないと煙が発生しやすくなります。 ファン電源ボタンを押し、吸煙ファンを作動させてください。 カーボンフィルターをお手入れするか、汚れがひどい場合は新しいものと交換してください。
吸煙ファンが動かない	<ul style="list-style-type: none"> ファン電源ボタンを押しましたか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ファン電源ボタンを押し、吸煙ファンを作動させてください。
調理物がこげる	<ul style="list-style-type: none"> 調理温度が高すぎませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 調理温度を下げてください。
加熱中や使用中に「カチカチ」と音がする	<ul style="list-style-type: none"> 熱による金属の膨張音ではありませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 金属は熱が加わると膨張して音がすることがあります。異常ではありません。

愛情点検

長年ご使用の焼肉グリルの点検を！

	<p>このようなことはありませんか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードや電源プラグが異常に熱くなる ●運転中、異常な音がする ●本体が異常に熱くなったり、こげかけさにおいがする ●その他の異常・故障がある 	▶	<p>ご使用中 止</p>	<p>故障や事故防止のため、電源プラグを抜いて、必ず当社のサポートセンターにお問い合わせください。</p>
---	------------------------	--	---	---------------	---

製品仕様

品名	焼肉グリル
型番	SR-KD802
サイズ (約)	W440 × D260 × H100 mm
重量 (約)	2.85kg
定格周波数	50/60Hz
定格電圧	AC100V
定格消費電力	1,000W
温度調節 (約)	80 ~ 250℃
コード長 (約)	2.0m
材質	本体：ステンレス、ポリプロピレン、PA66 グリルプレート：アルミダイカスト（フッ素樹脂コーティング） 水トレイ：アルミメッキ鋼
セット内容	本体 ×1、グリルプレート ×1、水トレイ ×1、 カーボンフィルター ×3、取扱説明書 ×1

輸入販売元 イー・エム・エー株式会社
宮城県柴田郡大河原町新東156番地

サポートセンター

 **0800-919-3690** (通話料無料)

携帯電話、PHS からのお問い合わせ **022-486-3390** (通話料有料)

e-mail: support@sunruck.com

受付時間：10:00 ~ 12:15、13:15 ~ 17:00 月~金 (祝祭日・夏期・年末年始休業)

<https://www.sunruck.com/>

LINEからお問い合わせ



QRコードから友達追加後、
メッセージ送信が可能となります。
順番にご対応させていただきます
ので、ご回答お時間いただく場合
がございます。



この製品は家庭用です。
業務用でご使用の場合の1年保証は適用しかねます。
ご了承の程宜しくお願いいたします。

保証書

型番 SR-KD802

★ お 客 様	お名前	
	ご住所	〒 電話番号
★ 販 売 店	販売店名・住所・電話番号	
保証期間 1年 ★お買い上げ年月日 年 月 日		

★印欄に記入の無い場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

保証規定

- 取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に万一故障した場合には無償修理させていただきます。
本製品の保証書とお買い上げ時のレシートをご用意の上お買い上げの販売店までご相談ください。
- 修理の際の送料、および諸掛はお客様のご負担になります。
- 保証期間内で次の場合には保証対象外になります。
 - 本保証書のご提示がない場合。
 - 本保証書にお客様名、お買い上げの年月日、販売店名の記載のない場合。
あるいは文面を書き換えられた場合、その他事実と異なる記載がされていた場合。
 - 取扱上の誤り及び操作上の誤りによる故障および損傷。
 - 表記の販売店、または弊社以外による修理、改造による故障および損傷。
 - 接続している他の機器に起因した故障および損傷。
 - 火災、地震、落雷、水害などの天変地異、公害、異常電圧、指定以外の使用電源による故障および損傷。
 - お買い上げ後の落下や、移送時の落下などによる故障および損傷。
 - ご使用後の傷、変色、汚れ及び保管上の不備による故障。
 - 消耗部品、摩耗部品の交換。
 - ご使用者が純正品以外の部品を使用し、これが原因となって生じた事故等。
 - その他、故障の原因がお客様の使用方法にあると認められる場合。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。
This warranty is valid only in Japan
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

修理について

保証期間中の修理、保証期間外の有償修理のいずれの場合も製品をお送りいただき、お預かりしての修理となります。

※出張修理はいたしておりません。

※修理品の取り外し・取り付けはお客様自身で行ってください。それにより発生する費用等は保証の対象外となります。

■梱包について

梱包は製品ご購入時の箱をご利用ください。

※箱、内部梱包材を処分してしまっている場合は、誠に恐れ入りますがお客様にて別途箱をご用意いただき、内部梱包材は新聞紙を

丸めたものなどをご使用ください。また、運送中の衝撃を吸収できるようにできる限り厚めに梱包くださいますようお願い申し上げます。

※運送時に梱包が原因で破損した場合、有償での対応となりますのでご注意ください。

※修理依頼の際の梱包材は、お客様ご自身にてご準備をお願い申し上げます。梱包材のご準備およびそれに伴い発生する費用等は保証の対象外となります。

■送料について

SENDバック方式（送料相互負担）を採用させていただいておりますので、恐れ入りますが発送時の送料はお客様にてご負担くださいますようお願い申し上げます。

返送時の送料は弊社にて負担させていただきます。